

令和元年度 未来をつくろう 市民と市長の地域懇談会 報 告 書



日時	令和元年 10 月 7 日（月） 午後 6 時 30 分～8 時 30 分		
場所	麻町児童センター		
参加者数	29 人		
市側出席者	市長	北	猛俊
	副市長	石井	隆
	総務部長	稲葉	武則
	市民生活部長	山下	俊明
	保健福祉部長	若杉	勝博
	経済部長	後藤	正紀
	建設水道部長	小野	豊
	教育部長	亀渕	雅彦
	ぶどう果樹研究所長	川上	勝義
	企画振興課長	西野	成紀

【市長 開会のあいさつ】

9月20日から開催している地域懇談会、本日は麻町児童センターです。この場所では、卓球の大会も年に1回行われているということで、地域を回ることによってその地域の活動を知る機会にもなっています。

昨年の地域懇談会では、鉄路の問題と新庁舎の計画について説明しました。JRの関係では、JR北海道だけでは存続が困難な線区ということで、根室本線と富良野線の乗車率や利用拡大に向けた取り組みが課題として出されました。このことから、JR北海道と関係する自治体でアクションプランをつくり、乗車率を上げていくための取り組みを今後2年間行っていきます。また、北海道は、JR北海道に対して緊急的・臨時的な支援で、JRの利便性を向上させるために2億円決めたところです。そのうち、自治体の持ち分ということで富良野市は150万円を9月議会の補正予算で承認をいただき決定しました。今年と来年の2年間続きますので合わせて300万円を根室線の抱える課題、例えば滝川の乗り継ぎが悪いとか、往復切符がなくなったということも含めて、利便性向上に向けて取り組みを進めていきます。国の次の施策は抜本的なJR北海道に対する支援です。この2年間の取り組みを存続につなげていくためにもみなさんから意見をいただき、努力をしていきたいと思っています。

今回の地域懇談会のテーマは「これからの富良野市のまちそだて」と「地域の課題」です。まちそだては、今年と来年の2年間で新しい総合計画を策定する動きがはじまっています。総合計画というと難しく感じるかもしれませんが、目標は住んでいる人が便利で安心だと思えるようなまちにしていくことです。何が便利かということ、消費税が上がって生活の負担感も上がりますが、行政が運営する中で負担感を軽くする方法はないか。補助金だけではなく、住んでいる人たちと行政が力を合わせて工夫することで、負担を少しでも軽減する方法はないか。みなさんの身近にあるものから意見をいただき、総合計画の組み立てをしていきたいと思っています。

地域の課題は、住んでいて改善してほしいことは多くあると思います。行政だけでは解決できない課題もありますので、みなさんの協力も大切になってきますので、協働のまちづくりに向けた取り組みをしていきたいと思っています。

【懇談会の意見と回答】

保健・医療（地域医療）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○地域センター病院（協会病院）の医師がほとんど出張医で、開業医の後継者もいなくなると、地域センター病院が一次医療から二次医療まで担うことになる。そうすると、現在の医療体制ではかなり厳しくなる。医師養成確保の貸付金もやっているが、さらに医師の給料に市単独で上乗せ助成をしてでも医師確保に力を入れてほしい。</p>	<p>○地域センター病院は出張医に頼る状況が続いています。昨年からは固定の内科医がいなくなりましたが、10月から内科の固定医1名を確保できました。しかし、最低2名体制にしたいと思っています。産科も1名体制が続いていましたが、今年から2名体制を確保できました。市では医師確保として300万円を市単独助成していましたが、内科医の確保をするために今年から1,000万円を増やして支援しています。産科と小児の救急は沿線で行っていますが、産科と小児科を合わせて医師を確保していくことが重要だと思っています。</p>
<p>○現在の制度では、看護学校を卒業して3年間市内で勤務すると就学資金を返さなくても良いので、3年で転出する人がほとんど。返金を免除する期間を3年から5年に伸ばしてほしい。</p>	<p>○富良野圏域の看護人材を確保するためにも、少しでも長く定着してもらえるような方策を考えていきたいと思っています。</p>

福祉・社会保障（地域福祉）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○民生委員が更新の時期で連合町内会長が推薦することになっているが、なり手が見つからない。基本的にボランティアといっているが、民生委員の月額活動費は沿線の町では月額</p>	<p>○民生委員は3年に一度の改選があります。待遇は、平成27年から月6,500円とし若干の改善を図っています。基本的には無報酬という考え方ですが、本市では国からの300万円に</p>

1万円。富良野市は6千円。電話や車で移動する経費もあるので待遇改善をお願いしたい。	上乗せをして、総額620万円ほどの予算で活動を支援しています。
-------------------------------------------	---------------------------------

福祉・社会保障（高齢者福祉）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
○文化会館は利用料が高くて使えない。どこの施設も有料で使いづらい。高齢者の介護予防のためにも、高齢者が使うときには無料にしてほしい。	○新庁舎には文化ホール、リハーサル室、研修室、大会議室を1階に配置します。新庁舎の利用料金は、多くの市民に使ってもらえるよう、みなさんから意見を聞きながら設定します。ふれあいセンターは、新庁舎完成後も有効利用していきたいと考えています。

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
○高齢者のいきがい支援の助成は、どこの予算に入っているのか	○高齢者元気づくり事業補助金というもので、ふれあいセンターが所管しています。

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
○介護人材確保のために資格取得の予算は付いたが、介護保険制度の見直しで、要支援1と2は市町村の総合事業に移った。さらに国は要介護1と2も同じように市町村事業に移そうとしている。次の総合計画の10年の間には必ずそういうことになる。受け皿は必要だが、実際は人材確保ができず、有料老人ホームなどの高齢者施設は経営困難で全国的に破綻して無くなっている状況。総合計画の中で受け皿を作ってほしい。	○介護人材不足は、総合事業の受け皿もあり全国的に厳しい状況が続いています。介護保険事業計画は来年度見直しを行います。国の制度設計に対応するためにも、在宅を基本としたサービスが確保できるよう検討したいと思います。

都市基盤（河川）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○ベベルイ川の洪水対策はどうなっているのか。北海道に陳情して河川の中に堆積した土砂を撤去してほしい。</p>	<p>○河川の災害対策ですが、富良野市区間のベベルイ川護岸工事は概ね終わっており、毎年、河川の維持のために川の中に溜まった土砂や立木の撤去について北海道に要望しています。</p> <p>○ベベルイ川とヌッカクシフラノ川は、川底が高くなっていて大雨のとき、越水により周辺の農家の収穫物が水没したときがありました。その後、平成 28 年から毎年、沿線の首長や議長が集まって北海道に浚渫を要望しています。</p> <p>○一昨年、中富良野町で越水したときは北海道の職員に現地を見てもらいました。富良野市においても、先に国が空知川の浚渫（川底の土砂撤去）を行っています。少しずつではありますが浚渫をしている状況です。</p>
<p>○町内会長は地域の要望をまとめていない。地域懇談会では、個人で意見や苦情を言えるようにしてほしい。</p> <p>○何か問題があれば町内会長に言って、町内会長が連合会長に言う。そして連合会長が市役所に言う流れになっている。回答も逆の順番に伝わるようになっている。直接言えるようにしてほしい。</p>	<p>○町内の要望は、例えば町内の排水や道路を直してほしいといった要望については、要望箇所が多いため優先順位を決める必要があります。そうしたときに町内でまとめて要望をあげてくださいとお願いをしています。しかし、すべての町内が要望をまとめているわけではありません。</p> <p>○気になることがあれば直接来て言ってくれる人もいますし、コミュニティー推進委員を通じてくることもあります。その都度、担当課で対応していますので、分からないことは聞いていただき、気になることは言ってもらいながら、一つ一つ解決していきたいと思えます。</p>

都市基盤（都市空間）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○新しい住宅ができて、住居番号を付けていない家がある。住居番号はどこで管理しているのか。付けていない家に住居表示を付けるよう周知してほしい。表示板を再発行することはできるのか。</p>	<p>○通常は新築するときに市民課に新築届を出してもらい、市民課で住居表示の表示板を配布します。住居表示は法律で表示することになっていますので、周知方法を考えたいと思います。表示板の再発行もできます。</p>

基盤整備（公営住宅）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○公営住宅を建設しているが、なぜオール電化なのか。市内にガス会社が十数社ある。最近ストッパーがあってガスも安全になっている。</p>	<p>○高齢者が多くなってきて火災の心配が少ないということで、安全面からオール電化を推進してきました。</p> <p>○最初のころは安全面の配慮に加え、北電のオール電化推奨も背景にありました。ガスの安全性も高くなっていますので今後検討したいと思います。</p>
<p>○公営住宅入居者の意見は聞いているのか。オール電化が不便だという人や、災害のこともあり、ガスや灯油が必要だと感じている人もいないのではないか。一度アンケートをとってみてはどうか。</p>	<p>○公営住宅を建て替えて新しい住宅に移ってもらうときも、電気代が高いという不安の声がありますので、今後アンケートの実施も検討したいと思います。</p>

基盤整備（公園・緑地）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
○富良野はワインが有名なので歩道の街路樹にぶどうの木を植えて、まち全体をワインで盛り上げるようなイメージを作ってはどうか。	○ぶどうの木は管理の面で果実をカラスがいたずらすることがあります。ぶどうの木が管理面で適しているのかは検証してみたいと思います。
○街路樹は市で管理しているのか。	○市民のみなさんに満足のいくような管理にはなっていないかもしれませんが、年次計画で剪定をしています。

基盤整備（公共施設）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
○ふれあいセンターを有効に使おうと、昨年からは老人クラブ連合会の事務局を置いて活動をしているが、施設の音響が不十分だったり、高齢者が使うことを考えるとトイレが使いづらい。軽運動室は整備してもらえればもっと有効に使える。	○ふれあいセンターの修繕の話は担当課から聞いています。修繕計画は避難口の誘導灯や玄関のタイル貼替など行っていますが、老朽化していますので、順番を入れ替えるなどを検討しながら対応します。

都市基盤（新庁舎）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
○新庁舎の建設工事に市内の業者は工事に加わることはできるのか。	○新庁舎の工事は建築・電気・設備のそれぞれの企業体からなる異業種共同企業体に発注します。それぞれの企業体には最低1者以上の市内の業者を組み入れることを条件にしてい

	ます。
○30年後に人口が半分になる。将来の税収を考えて建設工事を計画したのか。減ってくる借金の返済額と税収。国も赤字国債で借金だけで交付税も減るのではないか。	○人口が将来1万4千人くらいと見込まれており、交付税も税収も徐々に減ってくると思われませんが、人口減少により支出も減ることになります。新庁舎の償還計画は年間1億5千万円の返済額になりますが、無理のないような返済計画にしています。 ○基準的な財政経費から基準的な税収を差し引いて、足りない部分に交付税が出されます。このため基準的な税収が減ると交付税は増える仕組みになっています。

市民協働（対話によるまちづくり）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
○地域懇談会の内容をもっとわかりやすく、気軽に來ることができるようなものにして、本当に市長と懇談したいような地域懇談会にしてほしい。	

【市長 閉会のあいさつ】

行政側の説明を聞いていただき、また地域課題についても意見を出していただきお礼を申し上げます。まちそだてに関わる現状を改善するという意見もありました。

基盤整備（河川）

洪水対策は、まちを安心安全にしていくためには避けられないものと思っています。平成28年の大雨で空知川の合流地点で土砂が堆積しましたが、この部分は浚渫をしてもらいました。その後、2年が経過しベベルイ川とヌッカクシ川の合流地点から空知川にかけては、土砂が堆積したままです。この現状は認識しているところです。引き続き、北海道への要請活動をしてきますが、このままでは人災になりかねないという強い思いで伝えてきます。総合計画にも防災対策ということで盛り込んでいきます。

基盤整備（公共施設）

ふれあいセンターは老朽化する市の建物共通の課題です。公共施設の維持、統廃合を含めて検討させていただき、その中で利用しやすいよう改善していきたいと思います。数多くある公共施設の改修や維持補修についても、総合計画の中に盛り込んでいきます。

保健医療（地域医療）

医師、看護師、介護人材の関係では、その重要性はまちづくりの底辺を支えている人たちです。このことを充実していくのは、まちづくりの前提になりますので、強い気持ちで医師確保、看護師の地元定着に全力を尽くしていきたいと思います。医師確保では、この後も内科医の確保に向けては、関係機関への要望と医大への陳情もしながら、要請していきたいと思います。

福祉・社会保障（高齢者福祉）

介護職の人材不足は、富良野市の実態に合った施策を考えていきたいと思います。

福祉・社会保障（地域福祉）

民生委員の関係では、連合町内会の役員も含めて地域コミュニティーの在りようが問われています。こうした負担をどのように改善していけるのかを総合計画に盛り込みます。

【参加者アンケートの主なご意見】

年齢区分	性別	ご意見
50-59 歳	男性	何年たっても富良野市には独身未婚女性との出会いがなくて交際に進まない。 年齢制限があるイベントには参加できないので、企画してほしい。
50-59 歳	男性	庁舎の計画は少しでも予算を減らす方向で再度検討してほしい
50-59 歳	男性	若い世代が参加できる工夫が必要。「まちそだて」は「ひとそだて」、若い人の意見が大切。
60-69 歳	男性	具体的な内容が全くない